

# 令和4年度学校評価報告書

## 1 本年度の重点目標

- (1) 生徒一人一人の学習状況に応じた細やかな指導を工夫し、主体的な学習態度と学力の向上を図るとともに自ら学ぶ意欲を育てる学習指導を推進する。
- (2) 生徒一人一人の主体性の育成を図り、自らを律する心を育てる生徒指導を推進する。
- (3) 生徒一人一人が自ら進路目標を早期に確立し、キャリア教育の視点から進路目標実現を図る進路指導を推進する。
- (4) 生徒一人一人が自分自身を大切に健康な生活を送るために、自ら心身を鍛える意欲と態度を育てる健康・安全指導を推進する。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校Webページによる教育活動の情報発信について、随時更新し地域への発信も積極的に行い閲覧回数は増加傾向にあった。</li> <li>コロナ禍の対応や保護者生徒への注意喚起などもの的に更新できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用は十分行われており、地域への情報発信は、信頼される学校経営となっている。</li> <li>生徒・保護者ともに「生徒の声を聞く」項目が昨年より評価が向上していることは評価できる。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域等への情報発信を継続し、学校ホームページの更新や、学校だより等を多方面に配布するなど、今後とも積極的に取組、信頼される学校づくりを行う。</li> </ul>	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝テストや週末課題の取組について、学力の向上や自主的な学習活動となるよう努めた。</li> <li>授業・評価方法の工夫・改善による、自学、探究等、主体的な学びの育成のため、教科横断学習の充実を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の実施に受け、評価方法も研修されており、指導と評価が一体的となっていてよりよい成果が得られることを願う。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通理解のもと、個に応じた、授業改善に係る創意・工夫と達成度の検証をし、適切な評価により、学習活動と生徒の理解が結びつくよう、主体的な学びのための工夫と改善を組織的に行う。また、状況に応じた効果的なICTの活用も取り入れる。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員の共通理解と共通実践による指導体制を図るため、職員会議では情報を共有し個に最適な指導体制を整えることができた。</li> <li>いじめに対する基本的な考え方をさらに理解していただく取組を行い迅速な対応に努める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して落ち着いた学校生活を送られているが、小さな落とし穴を見逃さない努力を今後とも続けて欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話など、保有者がほとんどの時代となり、正しい情報モラルを身につけさせ、情報社会に主体的に関わる態度の育成を行っていく。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に係る情報の収集、分析、提供による、生徒・保護者の進路意識を向上させ、進路意識の向上と主体的な行動力の育成を図った。また、関係機関との連携・協働に基づいたキャリア教育の充実は、来年度の課題として取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学以降、自分の進路実現に向けた、意識付けが大切であり、キャリア教育で適切な職業観を身に付けさせて欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する入試制度に対応した進路指導の充実と年次の進行に応じた計画を設定し、その実現に努め、進路実現に向けたさらなる指導体制を構築する。</li> </ul>	
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援委員会を中心として、スクールカウンセラー等を活用した指導により、ケアを必要とする生徒の内面に迫る指導が実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が安心・安全な環境づくりに対し、生徒と保護者に差があるので、今後とも、協力体制や情報共有を図り健康に生活できる環境作りに取り組んで欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健康管理や望ましい生活習慣の確立に向け、啓発や指導を適切に行う。環境整備や美化活動を全校的に取り組み、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる能力・態度・習慣を図る。</li> </ul>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校のホームページで公開するとともに、PTA役員会・総会等で公表する。</li> <li>令和5年度の学校評議員会で概要報告する。</li> </ul>	